

# 児童発達支援事業所における自己評価結果(重心以外)

	チェック項目	はい	どちらでもな	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環 ・ 境	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	7	1	活動毎に部屋を変えて活動を実施しています。粗大の活動時は大きな部屋内で身体を十分に動かせるようにしています。	利用定員に対してのスペースは十分に確保しているので、活動毎に工夫しながら空間を活用していきたいです。
	2 職員の配置数は適切である	7	6	0	利用児数に対しての職員数は満たす様にしています。	現場内で調整をしながら、適切な職員配置で今後も運営をしていきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	0	11	2		今後は、スロープの設置なども検討しております。利用児にとって過ごしやすい環境を適宜考えていきたいです。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	7	0		活動後は清掃をして、綺麗な環境を保っています。職員間でも清潔な環境を整えていき、利用児が心地よく過ごせる様にしていきたいです。
議	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	13	0	0	年に2回目標管理面談を実施しています。そこで個人の目標を決めて、振り返りを実施。	今後も一人ひとりの目標管理を行いながら、業務改善に向けた取り組みを実施していきたいです。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	12	1	0	毎年事業所評価を保護者に記載してもらっています。	第三者評価や事業所評価の結果を受けて、職員間で共有している。今後も、保護者の意向を踏まえた支援を提供していきます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	11	2	0	事業所評価は毎年倉敷市と法人のホームページに掲載しています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	9	4	0	今年度は第三者評価を受審しております。その評価結果を職員に周知をしています。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	11	2	0	事例検討・人権・虐待研修等事業所内研修は定期的実施しています。	事例検討・人権・虐待研修等事業所内研修は定期的実施している。
適 な 援 の 機	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9	4	0	アセスメントシートと保護者の要望書を用いて、課題を分析しています。	今後も保護者のニーズや利用児の姿や課題を把握しながら、個別支援計画書を立案していきたいです。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	11	2	0	アセスメントシートを活用して状況を記載しています。	

	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	12	1	0	個別支援計画書内には、発達支援・家族支援・地域支援の3本柱で立案をしています。 課題の整理表を用いて、本人・家族の課題を分析しています。	今後も児童発達支援ガイドラインに沿った支援計画書を立案していきたいです。 利用児だけでなく、それを取りまく家族・地域の現状・課題を分析して立案に努めていきます。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	10	3	0		今後も一人ひとりの個別支援計画書に沿った活動を実施していきます。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	11	2	0	業務に携わる職員で立案をしています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	13	0	0	登園する利用児の姿や課題に合わせて、課題を都度設定しています。	今後も利用児の姿に合わせた活動を設定していきます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	13	0	0	個別だけではなく、集団活動のねらいも個別支援計画書内に組み込んでいます。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	13	0	0	朝礼時間を設けて、1日の流れの打ち合わせ・特記などを職員間で周知しています。	今後も継続して職員間で支援内容を共有していきたいです。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	12	1	0	毎回昼礼時間を確保しており、お子さんや保護者の方の様子を振り返っています。	今後も継続して職員間で支援内容を共有していきたいです。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	12	1	0	個別支援計画書の内容に沿った記録を日々記載しています。その中に姿や課題を記入しています。	今後も記録を参照に、日々の支援の振り返りや改善に繋げていきたいです。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	12	1	0		今後も定期的に見直しを行いながら、子どもの姿に適した支援計画を作成していきます。
機 や の 機 や の 機	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	6	0	児童発達支援管理責任者や現場のリーダーが参画しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	8	1	必要に応じて、保健師などの関係機関との連携を実施しています。	今後も引き続き母子保健と連携をしたご家族への支援を実施していきたいです。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	3	8	1	きらり水島は該当者なし。(あかりは該当者有り)	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	12	1	0	きらり水島は該当者なし。(あかりは該当者有り)	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚	10	2	1	必要に応じて、園や小学校と移行支援会議を实	今後も所属園や地域の小学校と連携を取りながら、利

		部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている				施して、利用児の状況や支援内容について共有しています。	用児の状況を適切に伝えていきたいです。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	7	1	必要に応じて、園や小学校と移行支援会議を実施して、利用児の状況や支援内容について共有しています。	今後も所属園や地域の小学校と連携を取りながら、利用児の状況を適切に伝えていきたいです。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	5	0	同法人内の事業所と連携を取りながら、研修を実施しています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	11	0	隣接している保育園の行事には、定期的に参加をしています。	今後も隣接している認定こども園との交流を実施して、障害の有無に関わらず活動する機会を取り入れていきたいです。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	13	0	0		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	13	0	0	毎回引継ぎ時間を設けており、保護者に利用児の様子や家庭の状況の聞き取りを実施しています。	今後も保護者の方とお話する時間を大事にして、保護者と共通認識を取りながら支援を実施していきます。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	12	1	0	年1回ペアレントトレーニングやかがやき手帳を書く会などを実施。	
養 の 體	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	12	1	0	利用開始前に保護者に説明を行っています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	13	0	0	個別支援計画書の説明時には、計画のねらい等を含めて保護者に説明をしています。	今後も懇談時には丁寧な説明を心掛けて実施していきたいです。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	3	0	引き継ぎ時に保護者の気持ちを聞き取る様に努めています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	13	0	0	保護者勉強会などを定期的に実施しています。	今後もペアレントトレーニングなどの保護者が集える場を定期的に開催していき、保護者同士の連携に繋げていきたいです。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	13	0	0	保護者からの相談があった場合には、直ぐに対応しています。	今後も保護者が安心して相談できる場所として運営していきたいです。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	13	0	0		毎月通信を発行して、次月の活動予定やお知らせを記載しています。今後も保護者に分かり易い形で情報を発信していきたいです。

	38	個人情報の取扱いに十分注意している	12	1	0	ブログやインスタグラム等に利用児の情報を掲載する場合には、保護者に確認を取らせてもらい、掲載しています	今後も引き続き個人情報の取り扱いには職員一同十分注意していきます。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	5	3		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	11	2	0	法人内で実施する行事には、地域の方を招待して活動を実施しています。	
障 の 處	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	12	1	0	災害時に備えたマニュアルを整備しています。保護者の方へも契約時に災害についての対応を周知しています。	日頃から職員間でマニュアルに目を通していきながら、災害時に備えていきたいです。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	11	2	0	月1回災害訓練を実施しています。	今後も、マニュアルに沿った流れで訓練を行い、災害時に備えていきたいです。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	13	0	0	利用児表や保護者からの聞き取りにて、服薬状況や発作の様子をご確認させてもらっています。	利用児の状況を適宜保護者の方から聞き取りながら対応していきたいです。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	13	0	0	事前に医師の指示書を確認すると共に、栄養士にもアドバイスを貰い、事業所内で対応しています。	今後もおやつ提供時には、職員間でアレルギーチェックを行いながら対応していきたいです。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	12	1	0	職員会議時には事故・ヒヤリを共有しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	12	1	0	事業所内で虐待・人権等の研修を週1回程度で実施しております。	今後も定期的な職員研修を開催して、職員の意識を高めていきたいです。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	10	3	0	身体拘束に関しては、利用前に同意書を保護者に貰って対応しています。また、個別支援計画書内にも身体拘束に関する項目を設けて記載をしています。	